

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
403	ライトピア事業経費	会計	01	一般会計	
基本施策	39	部落差別の解消に向け、同和行政を推し進める	款	03	民生費
			項	03	同和行政費
			目	02	隣保館費
担当部課名	ライトピアおおやまだ		細目	102	隣保館事業経費
作成者氏名	辻 克治	連絡先	細々目	05	ライトピア事業経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)					
	ライトピアおおやまだ管内の地区住民	地区住民の健康保持増進、生活の向上が図られる。同和問題に対する理解と認識が深まるとともに、大山田地域や職場で差別をなくす取り組みが広がります。					
本年事業内容	・ライトピアおおやまだ人権大学講座 ・ライトピアおおやまだ人権フェスティバル ・ライトピアおおやまだ梅まつり ・健康相談、職業相談、巡回生活相談 ・啓発図書、ビデオの貸し出し						
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等	伊賀市隣保館条例

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.6	0.6	0.6
	人件費合計(A)	4,320	4,320	4,320
②支出内訳(千円)	事業費(B)	3,030	3,190	3,045
	報償費	1,604	1,390	1,320
	旅費	0	538	510
	需用費	926	859	820
	その他	500	403	395
合計(A+B)		7,350	7,510	7,365
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国庫支出金	1,469	1,523	1,450
	地方債			
	受益者負担			
その他特財				
一般財源	5,881	5,987	5,915	
上記①～③に関する特記事項				
人権主事は、人権大学講座、人権フェスティバル、梅まつり担当です 社会同和教育指導員は、健康相談、職業相談巡回生活相談担当です				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
人権大学講座の受講生数	人	368	380	380			
開催回数	回	5	5	5			
人権フェスティバル	人	150	160	170			
健康相談	回	12	12	12			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
人権大学講座受講終了生1期からの合計数	人権大学を受講しても欠席が多く終了証書をもらえない人もいます。最後まで受講して終了する人を増やしたいので指標としました。多くの人に受講してもらって、人数を積み上げていくようにしました。	人	597 目標 ()	670	740
人権フェスティバルの参加者数	多くの人に参加してもらうために参加者数を指標にしました。	人	150 目標 ()	160	170

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

・人権大学講座
 平成8年度から毎年開催していますが、平成18年度で第11回目となります。最初の目標は旧大山田村人口6000人の1割の600人でしたが、平成17年度に達成できました。平成16年度伊賀市となり平成17年度からは受講対象者を伊賀市に拡げ募集しています。

評価	必要性	4	差別を許さない住民のつながりや行動力を獲得できるように、指導者の実践力を養うことをねらいとして、平成8年度から開催しています。少しずつですが、地区別懇談会等により影響が出ているように感じます。多くの人に受講してもらって、差別や偏見に対する理解と認識をしてもらうために、引き続き実施していきたい	総合評価
	有効性	4		
	達成度	4		
	効率性	4		
				A